

エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ホスピタリティ学
1	ビジネスマナー
1	ユニバーサルサービス
1	就職活動講座
1	TOEIC I・II
1	英検対策 I・II
1	コミュニケーションング リッパ
1	第2外国語（中国語・韓国語）
1	SP I 言語対策
1	SP I 非言語対策
1	コンピュータ
1	アマテウスアルテア
1	空港実務
1	グランドハンドリング
1	CA受験対策
1	ピューティー
1	危険物取扱者試験対策
2	フライトオペレーション
2	コミュニケーション学
2	コミュニケーションング リッパ
2	観光英語
2	手話
2	ブラッシュアップマインド
2	接客英語
2	第2外国語（中国語・韓国語）
2	SP I 言語対策
2	SP I 非言語対策
2	観光地理
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテア
2	CA受験対策
2	企業実習1～5

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	P・Z	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界の知識(航空輸送の歴史、航空機、空港、等)について講義 航空会社の戦略と実践(航空会社の特徴)について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空業界ではどのような業務が行われているかを理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	エアライン・マネジメント(戦略と実践)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行う				
2回	航空輸送の歴史	航空機の発達と歴史(ライト兄弟から旅客機のハイテク化まで)について学ぶ 国際民間航空機関(ICAO)と国際航空運送協会(IATA)について学ぶ 航空自由化(オープンスカイ政策)の流れについて学ぶ				
3回	航空事業の今	「航空事業とは何か」について学ぶ 航空事業の果たす役割について学ぶ 航空事業の特性について学ぶ				
4回	航空事業の規制緩和	国内線の参入規制緩和について学ぶ 国際線に関する外国との間の規制緩和について学ぶ 日本における航空会社の新規参入について学ぶ				
5回	空港	日本の空港の現状と課題について学ぶ 空港の分類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設について学ぶ				
6回	空港整備と民営化	日本の空港整備の推移について学ぶ 首都圏および各空港の整備の歴史について学ぶ 空港民営化について学ぶ				
7回	航空会社	大手航空会社と関連会社について学ぶ 中堅航空会社と格安航空会社について学ぶ 航空会社の関連事業について学ぶ				
8回	航空会社の経営計画	航空会社の経営計画の特質について学ぶ 航空会社のブランド戦略について学ぶ 小テストを実施(解答説明)				
9回	ネットワーク戦略	路線ネットワークの構築(需要と供給)について学ぶ 路線便数計画(コードシェア)の策定について学ぶ 航空会社の機材計画(機種の特徴)について学ぶ				
10回	アライアンス戦略	アライアンス(国際提携)とは、について学ぶ 提携の歴史と変遷について学ぶ 3大アライアンスの比較について学ぶ				
11回	マーケティング戦略	顧客満足と顧客体験の重要性について学ぶ マーケティングと商品・販売戦略について学ぶ マーケットセグメンテーションについて学ぶ				
12回	LCCビジネス	LCCビジネスの特徴について学ぶ LCCの台頭について学ぶ LCCの変化について学ぶ				
13回	航空保安	保安対策基準について学ぶ 機内持ち込み手荷物と受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 小テストを実施(解答説明)				
14回	期末試験	航空業界の今後の動向について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内・国際貨物、郵便取扱業務およびロードコントロール業務の経験をもとに航空貨物取扱全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義&演習	
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務の視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの説明 ・航空業界認識度調査 ・空港での仕事と役割 ・航空機には何が搭載されているか 				
2回	航空機概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機の種類 / WIDE BODY AIRCRAFTとNARROW BODY AIRCRAFT ・内航機と外航機 ・各機種貨物室の説明 				
3回		<ul style="list-style-type: none"> ・航空貨物の荷役方式 ・ULD (UNIT LOAD DEVICES) ・搬送器材・搭載器材・その他の補助器材 				
4回	各種コード/用語説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ICAO/IATA ・空港コード ・航空会社コード ・国コード ・代理店コード ・用語説明 				
5回	航空貨物概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空輸送の役割 ・航空輸送書類の説明 ・貨物の種類 ・国内・国際貨物の違い ・航空保安 				
6回	国内貨物輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・国内貨物の流れ ・国内貨物代理店 ・運送状の役割 ・国内貨物受託要件 				
7回		<ul style="list-style-type: none"> ・直送貨物と混載貨物 ・混載差益 ・継越/相次運送 ・運送における優先順位 ・運送約款/運送責任 				
8回	郵便の輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・国際郵便の法体系 ・国内郵便物の種類 ・コンテナ郵便 ・外国郵便物 ・郵便物の受託 ・米国軍事郵便物 				
9回	国際貨物輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・国際貨物の流れ ・外国貨物と内国貨物 ・税関手続きについて 				
10回		<ul style="list-style-type: none"> ・運送状の説明 ・READY FOR CARRIAGE ・IATA貨物代理店 ・国際貨物の受託から引渡しまで ・保税運送 				
11回	各種法令	<ul style="list-style-type: none"> ・航空法 ・関税法 ・植物防疫、動物検疫 				
12回	特殊貨物	<ul style="list-style-type: none"> ・航空貨物の梱包 ・生鮮貨物、WET貨物 ・動物 ・危険物 ・遺体/遺骨 ・貴重品 ・保税貨物、通済貨物 				
13回	運賃計算	<ul style="list-style-type: none"> ・IATAと航空運賃 ・運送料金 ・容積重量 ・国内貨物運賃 				
14回	前期のまとめ / 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業のまとめ ・期末試験 				
15回	期末試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説 				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ホスピタリティ学			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	橋本未沙記			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	空港におけるホスピタリティについて実践例を交えながら、気づきの感度を高める			授業形態	講義	
到達目標	ホスピタリティマインドを身に付ける					
使用テキスト	適宜書籍からの抜粋					
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	自己紹介で自分をアピールする	一人ひとりに自己紹介してもらい、良い点、改善点をアドバイスする これからの就職活動において、重要である好印象な自己紹介の仕方、また、人前で話すことに慣れる				
2回	仕事の意義を考える	自分の選んだ仕事对社会においてどのような意義があるのか、考える DVD視聴後、その人の働き方について考え、グループディスカッションする				
3回	これまでに自分が受けた感動のサービスについて	課題として考えてきた、過去に自分が受けた感動のサービスについて発表する 他の人の発表について質疑応答(なぜ感動したのかポイントを追求する)				
4回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する①	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)				
5回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する②	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)				
6回	気づきの感度を高める①	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
7回	気づきの感度を高める②	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
8回	空港で働く先輩の話	ランプで働く先輩、空港で旅客担当の先輩の話聞き、その後質疑応答 車座で先輩との意見交換の時間を設ける				
9回	お手伝いが必要なお客様①	バリアフリーとはなにか考える バリアフリーに関するサインやシンボルマークについて理解する				
10回	お手伝いが必要なお客様②	街の中、生活の中で発見した、気付いたバリア、バリアフリーについて発表する 車いすをご利用のお客様、目や耳がご不自由なお客様への対応について学ぶ				
11回	航空業界について	講演:航空業界について□ 航空業界、西鉄エアサービスについて知る				
12回	気づきを体験する①	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう				
13回	気づきを体験する②	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう				
14回	制服を着て働くということ	制服を着て働くことについて考え、理解する 空港で働くこと、制服を着こなすことについて必要なこと				
15回	決意表明	自分が考えるホスピタリティとは？ 前期授業で学んだことをこれからどのように活かしていくか みんなの前で決意表明する				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルプライダル・国際ビジネス・鉄道・エアライン	
科目名	ビジネスマナー			クラス	ACMP	
担当講師(フルネーム)	田中友加利・池田香織			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2026年度版					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法				
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ				
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第2章 仕事の基本となる8つの意識				
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事中的マナー				
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性				
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客応対と訪問の基本マナー				
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い				
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話応対				
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方				
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用				
15回	期末試験	期末試験 前期授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルサービスについて学ぶ 合理的配慮について学ぶ				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方・性の多様性	妊娠中の方、小さなお子さま連れの方についての基本知識を習得する 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える 性の多様性への理解を深める				
11回	知的・精神・内部障害者へのサービス	知的・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達障害者への接客を学ぶ 内部障害の基本知識を習得する				
12回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
13回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
14回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	期末試験	期末試験 まとめ				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向け心構えをする 自己分析をし面接対策を行う			授業形態	講義	
到達目標	日常生活でも業界人を意識した行動ができるようになる					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	出席率、授業態度、提出物、身だしなみ、実技試験により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法 ・受験への心構え ・日頃から意識すること(挨拶・時間・準備) 				
2回	就活の軸	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動から内定までの流れ ・就活の軸を考える 				
3回	受験の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・第一印象の重要性 ・話す姿勢、聴く姿勢 				
4回	手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の手続き ・就職室の活用方法 				
5回	自己分析①	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強み、弱みを知る ・自分の人生を振り返る 				
6回	自己分析②	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRを作成する 				
7回	自己紹介①	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRと自己紹介の違い ・あらゆる角度から自分を見る 				
8回	自己紹介②	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をする 				
9回	面接対策①	<ul style="list-style-type: none"> ・入退室を実践する ・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ 				
10回	面接対策②	<ul style="list-style-type: none"> ・入退室を実践する ・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ 				
11回	面接対策③	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、自己PR 				
12回	面接対策④	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、自己PR 				
13回	面接試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック 				
14回	面接試験②	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック 				
15回	面接試験③	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック ・まとめ 				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・鉄道・国際ビジネス	
科目名	TOEIC I			クラス	ACMP①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集12					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現				
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文				
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題				
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 時制 能動態と受動態				
8回	Part5(5)	代名詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞				
9回	Part5(7)	Part5のまとめ 前置詞と接続詞				
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題				
11回	Part7(2)	Eメール、お知らせ・予定表を読む 文脈を意識して読む 練習問題				
12回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説				
13回	模試復習	リーディング 文法 読解				
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題				
15回	IPテスト対策	リーディング対策 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・鉄道・国際ビジネス科	
科目名	TOEIC II			クラス	ACMP①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集12					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる				
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題				
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞きとる お知らせや電話のメッセージを聞く				
5回	Part4(3)	アナウンス・ツアー・トーク・スピーチ Listeningのまとめ				
6回	Part5(2)	品詞問題 形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(4)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法について理解する				
8回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題				
9回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
10回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 看板、フォームを読む				
11回	Part7(3)	テキストメッセージ、ウェブページを読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む 時間を管理する				
12回	模試	リーディング模試 Part5/Part6/Part7 答え合わせ				
13回	IPテスト対策	リスニング対策 よくある場面と設問 頻出語彙				
14回	期末試験	Part5/Part6/Part7 単語プリント				
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライダール、エアライン、鉄道、国際ビジネス、夜間総合観光科
科目名	英検対策 I & II			クラス	APMCZ
担当講師(フルネーム)	日高郁子、猪口明日香、前田智美、加藤亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	英検2026年度に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2026年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	過去問題①	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	過去問題①	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	本試験	本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
8回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
9回	過去問題②	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	過去問題②	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	過去問題③	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	過去問題③	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	期末試験対策	長文読解 英作文問題 リスニング問題			
15回	期末試験	前期授業総括 期末試験解説 前期総復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語を日常生活やエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント ※ヘッドセット持参のこと					
成績評価方法	オンラインレッスン評価60% スピーキングテスト10% 平常点30%(出席点+スキル別トレーニング) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 日常英会話 基礎編	オンラインレッスンの受講方法&成績評価方法について Lesson1 初対面①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson2 初対面②				
3回	おもてなし英会話	Lesson1 空港:チェックイン①				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson3 自己紹介・質問①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson4 自己紹介・質問②				
6回	おもてなし英会話	Lesson2 空港:チェックイン②				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson5 日常のあいさつ①				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson6 日常のあいさつ②				
9回	おもてなし英会話	Lesson3 空港:預け入れ荷物の受託①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson7 聞き返し・つなぎ				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson8 英語について				
12回	おもてなし英会話	Lesson4 空港:預け入れ荷物の受託②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson9 あいづち				
14回	日常英会話 基礎編	Lesson10 お礼				
15回	おもてなし英会話	Lesson5 空港:施設案内				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	エアライン科、ホテル・ブライダル、鉄道科
科目名	中国語			クラス	PENクラス
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	有
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。				
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)				
成績評価方法	・期末試験 50% 平常点(小テスト+発表 30% 授業態度+欠席回数等 20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	中国のについての理解	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶			
2回	中国語の発音	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)			
3回	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声+第3声→第2声+第3声などの練習 ※1回目小テスト			
4回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文			
5回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么”・”谁”) 6. 省略疑問文 ◇人の呼び方			
6回	トレーニング2 第3課キャンパスで	7. 指示代名詞 8. 形容詞述語文 9. ”～的”			
7回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有” 12. 反復疑問文			
8回	トレーニング4	13. 数 詞 ※2回目小テスト			
9回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”			
10回	トレーニング5	16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞			
11回	第6課王先生の研究室で	18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)			
12回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”			
13回	トレーニング7 前期総復習	今まで勉強した内容についてのおさらい			
14回	期末テスト	自己紹介の表現			
15回	業務上で使う会話練習	現場で実際に使う会話練習			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道・夜間総合観光科
科目名	韓国語			クラス	P・M・E・Y
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	文字と発音①	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。			
2回	文字と発音②	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する			
3回	文字と発音③	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。			
4回	文字と発音④	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
5回	文字と発音⑤	初声(激音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
6回	文字と発音⑥	初声(濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
7回	終声(パッチム)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
8回	かなのハングル表記	発音の規則(濃音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 ハングルで自分の名前を書く練習をする。 「곰 세 마리」の歌と歌詞を覚える。			
9回	教室用語	パッチムを復習し、関連単語を覚える。 授業用語のフレーズを覚える。 クラスメートと会話練習をする。			
10回	体言文①	助詞「～은/는」 「～입니다/～입니까?」 クラスメートと会話練習をする。			
11回	体言文②	「～(이) 라고 합니다。」 自己紹介の練習をする。 復習問題を解く			
12回	体言文③	「激音化」と助詞「～이/가」 「～예요/～이에요?」 クラスメートと会話練習をする。			
13回	体言文④(否定文)	「～가/이 아니예요」 復習問題を解く 期末テスト対策			
14回	期末テスト	復習 期末テスト			
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科 エアライン科
科目名	SPI言語対策			クラス	CP
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す				
使用テキスト	・一般常識&SPI ・一般常識&時事/一問一答				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	漢字を極める	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定/ 模擬試験 (校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検)			
2回	都道府県を制覇する	日本の白地図を使用して都道府県を確認する うる覚えの知識を確かな知識に変える一歩			
3回	世界地図を見る①	白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう			
4回	世界地図を見る②	世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします			
5回	グローバル社会の住人①	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校で学んだILOやWHOの登場です			
6回	グローバル社会の住人②	程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要 国同士の『付き合い』を地域協定(EU、ASEANなど)を通して考えます			
7回	グローバル社会の住人③	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはフランスで6月開催予定。G20サミットはアメリカ合衆国で12月開催予定			
8回	あなたの『1票』の重さ	政治① 国会の機能と役割について			
9回	霞が関の仕事	政治② 内閣、省庁と関連機関			
10回	地方公共団体	政治③ 地方政治			
11回	裁判員制度	裁判所や裁判員制度の仕組みについて			
12回	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近なものに			
13回	『お札』は技術の結晶	『お札』から『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます			
14回	経済用語を覚える	CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう			
15回	前期末試験と夏課題説明	前期末試験(30分) 夏課題説明			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科1年・国際ビジネス科1年		
科目名	SPI非言語対策			クラス	クラス	PC	PC
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	実務経験	無	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	授業形態	講義	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。						
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2	
期末試験	1 授業中に実施						
テーマ		授業内容					
1回	四則計算1	SPI非言語に必用な計算の基礎を学習する。					
2回	割合の問題	割合の問題を解く。					
3回	金銭の問題1	損益を求める問題を解く。					
4回	金銭の問題2	売値と定価の違いを理解し割引の計算をする。					
5回	金銭の問題3	清算額を求め1人あたりの支払額を正確に割り出し問題を解く。					
6回	金銭の問題4	団体料金の割引、支払い総額などを正確に計算する。					
7回	金銭の問題5	分割払いの問題を解く。					
8回	ハジキ問題1	速度を求める基本計算を理解して問題を解く。					
9回	ハジキ問題2	速度算の標準的な問題を解く					
10回	ハジキ問題3	時速から分速や秒速を求める問題を解く					
11回	ハジキ問題4	流水算、通過算、旅人算などの問題を解く。					
12回	代入法の問題	代入法の問題を解く。					
13回	表の読み取り問題	表の読み取り問題を解く。					
14回	前期のまとめ	前期のまとめ					
15回	期末試験	期末試験					

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス/エアライン	
科目名	コンピュータ			クラス	CP	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	コンピュータの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	コンピュータの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	課題/小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	パソコンの基本	各種システムのログインIDとパスワード、基本操作 (初期設定、フォルダ/ファイル構造、コピーペーストなど) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
2回	パソコンの基本	パソコン各部の理解 (内部構成、USBアダプタや接続アダプタなど) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
3回	メール送受信	Outlookによる送受信 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
4回	メール送受信	スマホアプリからの送受信(インストールと初期設定) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
5回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleDrive/OneDrive(共有フォルダ)の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
6回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleChrome/MicrosoftEdgeの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
7回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleClassroomの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
8回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
9回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
10回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
11回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
12回	よく使うソフトウェアの紹介	テキストエディタ(さくらエディタ) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
13回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleMeetの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
14回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleFormの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
15回	コミュニケーションツール	仕事でよく使うその他のコミュニケーションツール ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空・旅行業界では必須のGDS(予約発券端末)の存在を理解する。 基本操作(コード検索や簡単な予約など)を習得して、業界で使用する専門用語も学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	GDS予約操作の基本をマスターする(各種コード検索や空席照会からの予約とPNR作成まで)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 クイックガイド予約(早見表)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	GDSの基本	amadeusとは、何かを学ぶ(amadeusの生い立ちを学ぶ) GDSとは、何か(どういう場面で使用しているのか)? amadeus起動と初期画面の確認を行う(パスワード入力とメインメニュー、コマンドページ)				
2回	各種コード検索	各種コード検索を学ぶ(入力練習あり) 様々な検索方法を学ぶ(航空会社・都市・空港・国・州など) 表示された画面確認も行う				
3回	タイムテーブル	各種コード検索の復習(練習問題使用) タイムテーブルTN入力を学ぶ(オプション入力、運航曜日や所要時間・機材確認を行う) 表示された画面確認も行う				
4回	空席照会 I	※「確認テスト」(内容:各種コード検索とタイムテーブル) 空席照会操作の基本を学び、画面表示内容を理解する 空席照会基本エントリー～のオプション入力を学ぶ(航空会社/予約クラス/時間指定/キャビン指定など)				
5回	空席照会 II	空席照会基本エントリー～ショートカットエントリーを行う 空席照会復習・入力練習(練習問題使用)				
6回	空席照会からの予約 I	空席照会からの直行便予約を学ぶ・入力練習(練習問題使用) 空席照会からの乗継便予約を学ぶ(同クラス予約とクラス違い予約)				
7回	空席照会からの予約 II	航空機未使用区間入力(アランク)を行う 空席照会・入力練習(練習問題使用)				
8回	前期・中間テスト	復習(コード検索～空席照会～航空便予約まで) ※中間試験実施				
9回	予約作成	中間試験の返却と答え合わせ PNRとは何か(PNR作成における必須5項目)を学ぶ PNRを完成させる(ERとIR入力)				
10回	予約完了	PNR抽出を行う(PNRの一部表示方法含む) PNR完了後の画面構成を学ぶ				
11回	PNR構成	専門用語を学ぶ(予約コード/ロケーターなど、それぞれの意味を理解する) RT(画面整理)とIG(中断)				
12回	予約変更	※「確認テスト」(内容:PNR作成) 予約便の変更を行う 旅客データ訂正(電話番号・発券期限の訂正)を行う				
13回	予約取り消し	予約キャンセルを行う 予約変更エントリーとの違いを理解する 前期期末試験対策(対策用プリント有)				
14回	期末試験	前期総復習 PNR作成と添削 ※期末試験(筆記と実技)				
15回	前期・総復習	期末試験返却 期末試験答え合わせ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	P①	
担当講師(フルネーム)	伊藤 真菜			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内空港や国内航空会社の特徴、国内線におけるお客様の流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務等の実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	国内線の基礎知識を身に付ける					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価について 航空業界について GSに求められる人材とは				
2回	日本の空港	各空港の特徴を知る 空港の3レターを覚える				
3回	日本の航空会社	各航空会社の特徴を知る 航空会社の3レター・2レターを覚える				
4回	サービス	FSCとLCCの違い 空港サービスについて				
5回	GSの業務①	旅客ハンドリング会社について学ぶ GSの業務内容を理解する				
6回	GSの業務②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
7回	GSの業務③	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
8回	GSの業務④	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
9回	GSの業務⑤	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 ラウンジ業務				
10回	手荷物①	受託・持ち込手荷物のルールを理解する 手荷物タグについて学ぶ				
11回	手荷物②	危険物について学ぶ 手荷物対応におけるトラブルについて理解する				
12回	国内線運賃	各種運賃ルールについて学ぶ 各社運賃を比較する				
13回	WEBサイト	各社WEBサイトを比較する 各種サービスについて学ぶ				
14回	期末試験	期末試験				
15回	前期のまとめ	テスト返却 前期の振り返り 後期に向けて				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング				クラス	P
担当講師(フルネーム)	森本 好樹				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々変化している航空機地上業務・航空輸送業務に対応できる知識を習得し航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識取得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験 80% 平常点 20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方・授業内容の理解・自己紹介(講師・生徒) ・日本の航空・航空行政・空港の機能など空港で働くということをディスカッションしてその意義を学ぶ ・社会情勢が航空輸送に与える影響・航空会社の使命と役割を理解しグランドハンドリングの概要を掴む 				
2回	グランドハンドリング概要	<ul style="list-style-type: none"> ・到着から出発までの流れと各作業の内容を知る・グランドハンドリング歴史と意義を学ぶ ・各業務を時間の関連を知る 業務紹介 ・航空保安 保安要員 制限区域/保安区域 LOADFACTOR 定時制 DGT DLY の影響を学ぶ 				
3回	空港規定	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語と業務の関連性を学ぶ ・空港コード IATA/ICAO CODE について学ぶ グランドハンドリングDGT 人員計画について学ぶ 空港内ABL ERA 滑走路 誘導路等について学ぶ 				
4回	搭降載関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語と業務の関連性を学ぶ 空港コード IATA/ICAO CODE について学ぶ ・貨物室TIE DOWN 固縛用具 固縛について ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD/時差 				
5回	トローイング	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機トローイング作業(通常トローイング・ハンガーIN/OUT)について学ぶ ・強風時のコンバストローイングについて ・トローイングマン養成について、グランドハンドリング使用機材の現状および今後の流れについて 				
6回	ブレーキマン	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキマンの作業について学ぶ ・ブレーキマンの養成について学ぶ ・航空機地上移動(緊急時の対応およびその役割について)について学ぶ 				
7回	ウォッチマン	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォッチマンの作業役割について学ぶ(翼端監視とは) ・翼端監視業務における安全確保について学ぶ ・航空機の諸元について学ぶ 				
8回	搭降載関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載計画(Load Plan)作成業務の概要を学ぶ ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ウェイト&バランス業務 航空機の重心 PAYLOAD について学ぶ 				
9回	航空機貨物室	<ul style="list-style-type: none"> ・機種別貨物室について学ぶ ULD方式/BULK方式 VOLについて ・ULD DIM 種類について ・GSEについて 				
10回	搭載取り卸し作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載物取り卸し作業の概要を知る 基本的な作業の流れを理解する IGOMIについて ・特殊搭載物の取り扱いを学ぶ O/H OSC/OHC/HUM/AVI/DG等の搭載を学ぶ ・税関について 指定地外交通 手荷物お取り扱い 郵便物について学ぶ 				
11回	航空機へのULD搭載	<ul style="list-style-type: none"> ・UNIT LOAD DVICE 種類 CLM から学ぶ ・SIZE PLT/CONT 実際のサイズを体験する ・ULD NBR から学ぶ BULK作業について学ぶ VOL について 貨物室での搭載方法 				
12回	搬出/搬入作業	<ul style="list-style-type: none"> ・機種別 ULD 台数と搬出/搬入台数を理解する ・物量情報と搬出のタイミング 機側作業との連携 ・NBR 照合と引き渡し 接点業務について知る 				
13回	航空危険物の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・航空危険物 危険物の定義 ・危険物輸送 分類/区分 国内法令 IATA DGR ICAO TI ・マーキング ラベリング 危険物の搭載作業全般を学び理解する 				
14回	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業まとめ ・期末試験(30分間) 				
15回	前期授業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験返却 解説 				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	平井奈美江			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職面接における第一次面接突破のための第一印象を整える			授業形態	講義	
到達目標	CA受験に自信を持って臨めるための面接レベルを目標とする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	自己紹介 航空業界の現状 CAとは何か ゴールの共有				
2回	CAの仕事について	CAの役割とは CAの仕事 サービスと安全性				
3回	求められる能力	CAに求められる能力とは その能力をどう身につけていくか				
4回	自己分析	ワークシートをもとに自己分析				
5回	自己分析	自己分析をもとに志望動機を考える				
6回	企業研究	各航空会社の特徴を研究する 研究から自己分析をもとに志望動機を深掘りする				
7回	中間試験	自己分析から言語化できているか 志望動機の発表				
8回	面接対策	立ち居振る舞いの確認 身だしなみ				
9回	面接対策	個人面接 入室から退室まで				
10回	面接対策	個人面接 質問集もとに				
11回	面接対策	グループ面接				
12回	面接対策	グループ面接 グループディスカッション				
13回	期末試験	個人面接 本番形式				
14回	期末試験	グループ面接 本番形式 グループディスカッション				
15回	まとめ	個別フィードバック 今後の就活戦略について				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビューティーレッスン			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	西山寿子・西崎公美・合志知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	顔の役割、好感の持たれる笑顔が映える顔作り スキンケア、日頃のお手入れを学ぶ。立ち居振る舞いの美しい女性になろう。			授業形態	講義	
到達目標	30分以内に好感の持たれるメイクアップができるようになる。					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	日頃の授業に意欲的に取り組んでいるか。 最終試験で30分以内にフルメイクができるようになる。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	「顔」の役割 担当)合志知子	顔の役割/笑顔の大切さ 人相心理学による顔分析				
2回	エアラインのメイクとは 担当)西山寿子	第一印象が好感がもたれるメイクアップ法 どの様なメイクアップ(表情作り)をするべきか メイクアップデモンストレーション				
3回	スキンケア理論 担当)西山寿子	肌のメカニズム 日頃の肌のお手入れ方法 クレンジングの仕方・化粧水コットンパック				
4回	スキンケア実践 担当)西山寿子	クレンジング実践・化粧水パッティング・コットンパック ツボ押し・保湿・下地の塗り方				
5回	ベースメイク 担当)西山寿子	肌質別ファンデーションの選び方 中高く立体的な骨格に見えるファンデーションの塗り方 骨格修正・血色を良く見せるニュアンスカラー				
6回	アイメイク・アイブロウ 担当)西山寿子	目元に立体感を与えるアイメイク方法 拡張メイク 理想的な眉のガイドライン・顔を立体的に見せる眉の書き方				
7回	アイメイク・アイブロウ復習 担当)西山寿子	目元に立体感を与えるアイメイク方法 拡張メイク 理想的な眉のガイドライン・顔を立体的に見せる眉の書き方				
8回	リップ・チーク・ハイライト 担当)西山寿子	自分の肌色に合うリップカラーを知る 自分に似合うチークカラーと入れ方 ハイライトで顔を立体的に見せる入れ方				
9回	フルメイク1 担当)西山寿子	責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う				
10回	韓国メイク 担当)西崎公美	トレンドの韓国メイクレクチャー				
11回	ヘアケア理論・アレンジ 担当)西崎公美	ヘアケアについて・ヘアアレンジの仕方				
12回	ヘアアレンジ 担当)西崎公美	それぞれに合ったヘアアレンジレクチャー				
13回	エアラインヘアメイク トータル実践 担当)西山寿子	トータルでヘアメイク実践				
14回	エアライン30分ヘアメイク 担当)西山寿子	試験を前に復習と共に、仕事を意識したメイクアップの完成度を上げる				
15回	最終試験 担当)西山寿子	責任感があり、好感を持たれるエアラインメイク 30分以内に行う				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)			クラス	P②	
担当講師(フルネーム)	池内 勝			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般			授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	国家資格内容		授業内容の説明及びスケジュールについて 授業の目的及び目標について 危険物の種類について			
2回	危険物に関する法令		危険物の定義及び分類について 指定数量について 製造所等の区分、申請等の手続きについて			
3回	危険物に関する法令		危険物取扱者の責務について 危険物保安監督者の責務について 危険物保安統括管理者の責務について			
4回	危険物に関する法令		危険物施設保安員の業務内容について 予防規定について 製造所等の規制について			
5回	危険物に関する法令		製造所等の規制について			
6回	危険物に関する法令		製造所等の規制について			
7回	燃焼及び消化		物理及び化学の基礎について			
8回	燃焼及び消化		燃焼の定義、消化の原理について 消火方法、消火設備について			
9回	過去問題		過去問題を解く 問題解説			
10回	過去問題		過去問題を解く 問題解説			
11回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
12回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
13回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
14回	危険物のまとめ 期末試験		前期のまとめ 期末試験			
15回	期末試験の解説		期末試験の解説 後期の授業の進め方について			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	フライトオペレーション			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の開発史、旅客機の区分、空港の構造、航空管制の知識、 運航管理業務、等について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空機運航業務の役割、目的を理解し業務に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	航空知識のABC・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業内容の進め方・成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う				
2回	旅客機の開発史	飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた旅客機の開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ				
3回	旅客機の区分	機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ				
4回	航空機運航	いろいろな種類の航空機について学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ 安全に飛ばすための計器や操縦システムについて学ぶ				
5回	空港施設	空港の基本構造について学ぶ 滑走路の長さや向きの決め方について学ぶ 誘導路とエプロンの違いについて学ぶ				
6回	空港施設	滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ たくさんある空港灯火の種類について学ぶ				
7回	航空管制の歴史	民間航空と航空管制について学ぶ 民間航空に関する国際条約と航空交通業務について学ぶ 小テストを実施(解答説明)				
8回	通信・航法装置	旅客機が地上との連絡を行う装置類について学ぶ 旅客機が位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ				
9回	航空管制業務	航空交通管制の役割について学ぶ 航空交通管制の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ				
10回	航空管制業務	航空保安無線施設の種類について学ぶ 有視界飛行方式(VFR)と計器飛行方式(IFR)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ				
11回	航空管制業務	航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ				
12回	運航管理	運航管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATC・フライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ				
13回	運航管理用語	オペレーション用語とその意味について学ぶ 運航管理用語と管制業務用語について学ぶ 小テストを実施(解答説明)				
14回	期末試験	航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーション学			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	社会で活躍できる人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために				
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング				
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク				
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは				
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる				
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール				
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値				
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方				
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり				
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか				
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり				
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク				
13回	スピーチ1分	課題				
14回	スピーチ3分	課題				
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Q クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語を日常生活やエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント ※ヘッドセット持参のこと					
成績評価方法	オンラインレッスン評価60% スピーキングテスト10% 平常点30%(出席点+スキル別トレーニング) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 日常英会話 基礎編	成績評価方法について Lesson21 空港で迎える①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson22 空港で迎える②				
3回	おもてなし英会話	Lesson11 機内:食事・飲み物の提供				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson23 観光の計画①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson24 観光の計画②				
6回	おもてなし英会話	Lesson12 機内:免税品販売				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson25 日本を案内する①				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson26 日本を案内する②				
9回	おもてなし英会話	Lesson13 機内:イレギュラー対応①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson27 日本を案内する③				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson28 日本を案内する④				
12回	おもてなし英会話	Lesson14 機内:イレギュラー対応②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson29 家を訪ねる①				
14回	日常英会話 基礎編	Lesson30 家を訪ねる②				
15回	おもてなし英会話	Lesson15 機内:よく聞かれる質問				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	観光英語			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ プロとして必要な英語コミュニケーションを場面に応じて学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit1(1) Recommending a tour	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 旅行の情報を英語で伝える ツアーの案内				
2回	Unit1(2) Recommending a tour	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit2(1) Taking a tour booking	ツアーの予約を受ける お客様の情報を入手する 支払いの手続きをする				
4回	Unit2(2) Taking a tour booking	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
5回	Unit5(1) Taking an airline reservation	時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
6回	Unit5(2) Taking an airline reservation	Dialogue at an Airline Office Pair Speaking Practice Role Play				
7回	Unit5(3) Taking an airline reservation	予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える				
8回	Unit6(1) Giving flight information	時差の知識 フライトの情報、予約の確認や変更についての電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
9回	Unit6(2) Giving flight information	Dialogue at an Airline Office Pair Speaking Practice Role Play				
10回	Unit6(3) Giving flight information	E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える				
11回	Unit7(1) Helping passengers check in	空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを確認する Vocabulary and Useful Expressions				
12回	Unit7(2) Helping passengers check in	Dialogue at the Airline Check-in Counter Pair Speaking Practice Role Play				
13回	Unit7(3) Helping passengers check in	荷物の許容範囲に関する説明書を読む オンラインチェックインの方法の説明を読む 質問に答える				
14回	期末試験	Unit1/Unit2 Unit5/Unit6/Unit7				
15回	まとめと復習	前期の復習 期末試験のフィードバック				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン	
科目名	手話			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での簡単日常会話と接客法					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聴覚障がい者と手話	聞こえないとは 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	伝え合ってみましょう	ものの形や身振り表情でコミュニケーション あいさつ				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介 名前の表し方・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう	数の表し方 数に関する接客手話				
6回	手話で表現してみましょう	自分のことを手話で伝える 趣味の表現				
7回	仕事について話しましょう	職業の手話表現 職場でつかう手話				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 交通手段の表現				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	一日のことを話しましょう	時の表し方 過去の表現				
11回	過去・現在・未来	時間の経過を表す 行事				
12回	接客手話	聴覚障がいのあるお客様に対するサービスの在り方				
13回	聞こえないとは	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活 実技テスト練習				
14回	実技テスト	学んだ手話で実技テスト				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ブラッシュアップマインド			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	社会人としてより良いスタートが切れるように心構えや考え方について考える			授業形態	講義	
到達目標	社会人として求められる基礎力を養う					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・出席率、提出物、授業態度、身だしなみにより評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、成績評価方法について ・1年次の振り返りと社会人として必要なことについて				
2回	ブラッシュアップ①	・キャリアデザインについて ※社会人のスタート「on your mark」				
3回	ブラッシュアップ②	・時世について ※世の中のことについて学び、今起きている出来事にアンテナを張ろう				
4回	ブラッシュアップ③	・時世について ※世の中のことについて学び、今起きている出来事にアンテナを張ろう				
5回	ブラッシュアップ④	・My life line(人生線分析) ※これまでの人生を振り返る				
6回	ブラッシュアップ⑤	・Career Path(キャリアパス) ※仕事人生と個人生活				
7回	ブラッシュアップ⑥	・20代にやりたいことを考える ※近い将来の目標について				
8回	ブラッシュアップ⑦	・ブラッシュアップマインド ※「座右の銘」と「日常五心」				
9回	ブラッシュアップ⑧	・ブラッシュアップマインド ※「心訓七則」				
10回	ブラッシュアップ⑨	・ブラッシュアップマインド ※「時を守り、場を清め、礼を正す」				
11回	ブラッシュアップ⑩	・入社時挨拶と社内報 ※まずは自己紹介から始めよう				
12回	ブラッシュアップ⑪	・チームワークとは ※ペーパータワー大会				
13回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明1 ※将来の自分にメッセージを贈ろう「卒業式の自分へ」				
14回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明2 ・後輩にメッセージを贈ろう				
15回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明3 ・保護者や先生にメッセージを贈ろう				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	接客英語			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown 秋満 陽子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界の様々な場面での専門的な用語や言い回しなどを、読む、書く、聞く、話すの4技能を通して習得する			授業形態	講義	
到達目標	就労後、自信を持って英語で接遇ができるようになる					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Orientation	シラバス・成績評価について 導入授業				
2回	Reservation①	航空券の予約業務 フライト情報を案内する リスニング、スピーキング練習				
3回	Reservation②	ロールプレイ 航空券の予約業務 フライト情報を案内する				
4回	Getting on the plane①	チェックインカウンター業務 リスニング、スピーキング練習				
5回	Getting on the plane②	ロールプレイ チェックインカウンター業務				
6回	At the boarding gate①	搭乗ゲート・出入国エリア業務 リスニング、スピーキング練習				
7回	At the boarding gate②	ロールプレイ 搭乗ゲート・出入国エリア業務				
8回	At the Airport①	空港内の様々な案内業務 リスニング、スピーキング練習				
9回	At the Airport②	ロールプレイ 空港内の様々な案内業務				
10回	On the Airplane①	機内アナウンス・機内食など航空機内での様々な業務 リスニング、スピーキング練習				
11回	On the Airplane②	ロールプレイ 機内アナウンス・機内食など航空機内での様々な業務				
12回	Dealing with complaints①	遅延、キャンセルなどのトラブルや苦情対応で使用する用語や言い回し リスニング、スピーキング練習				
13回	Dealing with complaints②	ロールプレイ 遅延、キャンセルなどのトラブルや苦情対応で使用する用語や言い回し				
14回	期末テスト①	前期 Written Test & Speaking Test 総括				
15回	期末テスト②	前期 Written Test & Speaking Test 総括				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	中国語			クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	有
授業概要(内容)	習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現についての解説			授業形態	講義
到達目標	習得した中国語の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高めることを目標とする。				
使用テキスト	中国語1年め (白水社)				
成績評価方法	・期末試験 50% 平常点 (小テスト+ 発表 30% 授業態度 + 欠席回数等 20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	発音の復習	中国語の発音”声調” ”母音””子音”			
2回	第1課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 <input type="checkbox"/> 姓名の言い方			
3回	トレーニング1 第2課 携帯の写真を 見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”			
4回	トレーニング2 第3課 いっしょに勉強 しよう!	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也”と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置			
5回	トレーニング3 第4課 ファストフード店で ※1回目小テスト	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文			
6回	トレーニング4 第5課 Tシャツを買う	1. 数 詞 2. 量 詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在”			
7回	トレーニング5 第6課いっしょに遊びに 出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想”・”要” 4. 語気助詞の”吧”			
8回	トレーニング6 第7課 花火は何時か ら?	1. 前置詞(1)”在”・”从”・”离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型			
9回	トレーニング7 第8課 学園祭 ※2回目小テスト	1. 助動詞(2)”会”・”能”・”可以” 2. 経験を表わす”过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 <input type="checkbox"/> 時間の長さの言い			
10回	トレーニング8 第9課 カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞(2)”给”・”跟” 3. 連動文			
11回	トレーニング9 第10課 中国の映画を 見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文			
12回	トレーニング10 よく使われるその他の語	<input type="checkbox"/> 時を表わす語 <input type="checkbox"/> 時間の長さの尋ね方 <input type="checkbox"/> 方向を表わす語 <input type="checkbox"/> お金の数え方 <input type="checkbox"/> 注意する100以上の数の数え方			
13回	総復習(期末テスト対策)	今まで勉強した内容についてのおさらい			
14回	期末テスト	自己紹介の表現			
15回	業務上で使う会話練習	現場で実際に使う会話練習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	韓国語			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特にハングル文字をおぼいし、正しい発音ができるようにする。				
2回	「해요体」の作り方Ⅳ	「하다」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 韓国の歌の歌詞を覚え、単語を増やしてみよう!				
3回	移動の目的を表す表現	用言の語幹について「～しに」など移動の目的を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
4回	助詞「～から～まで」	日本語の「～から」、「～まで」に当たる韓国語の助詞を覚える。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
5回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう!				
6回	聞き取り練習	CDを聞き、聞き取りの練習をする。 聞き取れた内容をハングルで書く練習をする。 聞き取れなかった単語の発音を繰り返し聞いて正しい発音ができるように練習する。				
7回	過去形の作り方	これまで学んできた「해요体」の過去形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
8回	「으語幹用言」の活用	語幹が母音「으」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
9回	「안用言」の活用	韓国語の否定表現の一つである「안 用言」について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
10回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 面接を想定し、韓国語で練習をする。				
11回	尊敬形の作り方	「해요体」の尊敬形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
12回	意志や推量を表す表現	「～するつもりです」といった話し相手の意志や、「～するでしょう」といった推量を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
13回	希望や願望を表す表現	動詞の語幹について、希望や願望を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 テスト対策				
14回	期末テスト	復習 期末テスト				
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス・ホテルブライダル3年コース・エアライン
科目名	SPI言語対策			クラス	D・E3・Q
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI言語、一般常識、時事問題など)対策			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける				
使用テキスト	朝日キーワード就職2027 最新時事問題&一般常識				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。解けなかった問題は必ず見直す 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組む			
2回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
3回	最新のニュース	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに			
4回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指します			
5回	はじめにてあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題がでることがあります。落ち着いて解きます			
6回	範囲を絞る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事			
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」を考える			
9回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
10回	意見交換をする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースを読んで相手の考えを聞く			
11回	SDGsを知る①	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る①SDGsとは？			
12回	SDGsを知る②	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る②17の目標			
13回	SDGsを知る③	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る③2024年度の達成度			
14回	SDGsレポート作成	・「私達が実行するSDGs」レポート①			
15回	前期期末試験	・前期期末試験(30分) ・「私達が実行するSDGs」レポート②			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科2年・国際ビジネス科2年・ホテルプライダグル科ホテルグローバル3年コース2年	
科目名	SPI非言語対策			クラス	QDE3	
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	グラフの問題1	グラフの問題を解く。				
2回	グラフの読み取り問題	実際の金額にあてはめて、費用が計算できるようになる。				
3回	WEBテスト対策	玉手箱(四則逆算)の問題を解く。				
4回	順列の問題1	順列の問題を解く。				
5回	順列の問題2	順列の応用問題を解く。				
6回	組み合わせの問題1	組み合わせの問題を解く。				
7回	組み合わせの問題2	組み合わせの応用問題を解く				
8回	確率の問題1	確率の問題(サイコロとコイン)を解く。				
9回	確率の問題2	確率の問題(カードと色玉)を解く				
10回	確率の問題3	確率の問題(「少なくとも」の場合)を解く				
11回	WEBテスト対策2	玉手箱(図表の読み取り問題)の問題を解く。				
12回	集合の問題1	ベン図を理解し集合の問題を解く。				
13回	集合の問題2	集合の問題(3つの場合)を解く。				
14回	推論の問題	推論の問題を解く。				
15回	期末試験	期末試験				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	観光地理			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内・海外の観光地理を学ぶ(空港から先の観光資源)。有名観光地の映像を見て学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を学ぶ。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・確認テスト(期末試験)70% 平常点(小テスト)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	国内観光地理【1】	・授業の進め方の説明 ・国内観光地理オリエンテーション(国内の地域区分等)			・講師作成プリントは講義時に配布します。 マーカーを用意 してください。 ・ 小テスト (数回実施)は Google Forms を使用し、 スマートフォン で解いてもらいます。	
2回	国内観光地理【2】	・九州【1】(福岡県・佐賀県・長崎県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
3回	国内観光地理【3】	・前回の続き				
4回	国内観光地理【4】	・九州【2】(大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
5回	国内観光地理【5】	・沖縄県 ・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
6回	国内観光地理【6】	・北海道 ・北海道の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
7回	国内観光地理【7】	・東京都 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
8回	国内観光地理【8】	・大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
9回	国内観光地理【9】	・授業の振り返り、まとめ				
10回	海外観光地理【1】	・アジア【1】(韓国) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・土産・料理等を学ぶ				
11回	海外観光地理【2】	・アジア【2】(フィリピン・ネパール・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・土産・料理等を学ぶ				
12回	海外観光地理【3】	・英国(イギリス) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・土産・料理等を学ぶ				
13回	海外観光地理【4】	・フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・土産・料理等を学ぶ				
14回	まとめ	・授業の振り返り、まとめ				
15回	確認テスト(期末試験)	・確認テスト実施				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス/エアライン	
科目名	コンピュータ			クラス	DQ	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	コンピュータの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	コンピュータの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	課題/小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	基本操作	各種システムのログインIDとパスワード、1年次のフォルダ整理 ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
2回	メール送受信	Outlookによる送受信 ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
3回	メール送受信	スマホアプリからの送受信(インストールと初期設定) ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
4回	Office365	Teamsの活用 ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
5回	Office365	Teamsの活用 ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
6回	SNS活用①	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
7回	SNS活用①	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
8回	SNS活用①	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
9回	SNS活用①	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
10回	SNS活用①	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
11回	SNS活用②	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備(SNS変更) 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
12回	SNS活用②	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
13回	SNS活用②	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
14回	SNS活用②	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿準備 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
15回	SNS活用②	Instagram、Youtube、TikTokへの投稿 3グループでそれぞれ投稿をすすめる ※必要に応じタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	様々なエントリーを使用して、複雑な予約作成を行う 予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の見方や規則)を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	複雑な予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の見方と計算方法)を習得する					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約・運賃 クイックガイド予約・運賃(早見表)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	便利入力	PNR作成スピードアップの秘訣を学ぶ(ページアップ機能 履歴ページの活用方法) 予約基本入力の復習を行う				
2回	2区間空席照会	2区間空席照会エントリーを学ぶ 2区間空席照会エントリーのオプション入力にてPNR作成を行う 便利入力・2区間空席照会を使ったPNR作成を行う(練習問題使用)				
3回	アクセスレベル	アクセスレベルの意味を理解する(テキストで概要を理解して実際の操作で学ぶ) GGPCA入力を行う(練習問題使用) ダイレクトアクセス空席照会エントリー入力を行う				
4回	PNR分割 I	PNR分割とは何かを学ぶ(入力のポイントを理解する)				
5回	PNR分割 II	PNR分割操作を行う(練習問題にてPNR完了まで)				
6回	PNRコピー	PNRコピー入力を学ぶ PNRコピー操作ポイントを理解して、完了まで行う(練習問題使用)				
7回	グラフィックモードの使用方法	グラフィック画面での予約を学ぶ グラフィック画面でサービスカタログを表示させる グラフィック画面でSSR入力を行う				
8回	前期・中間テスト	予約全般の復習(応用) ※中間試験実施				
9回	予約総復習	中間テスト返却 PNR作成後、各航空会社の運賃表を表示させる				
10回	運賃表 I	FQDエントリーを学ぶ FQD画面の詳細を理解する				
11回	運賃表 II	各航空会社の運賃確認をする(片道/往復) FQDエントリーのオプション入力を学ぶ				
12回	運賃規則 I	運賃表から規則を確認する(変更可否、取消手数料、購入期限など)				
13回	運賃規則 II	運賃表から規則を確認する(経由確認、出発曜日確認、滞在期間の確認など) 旅客への最安値額・運賃規則の案内を考える				
14回	期末試験	前期総復習 PNR作成と添削 ※期末試験(筆記と実技=PNR作成と運賃表の表示)				
15回	総復習(予約・運賃)	期末試験返却 期末試験答え合わせ PNR作成～運賃表の表示まで				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	青柳明子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	面接対策 本番を想定した面接練習			授業形態	講義&演習	
到達目標	様々な質問に、臆することなく面接に臨める。面接を突破するための印象力の獲得。					
使用テキスト						
成績評価方法	授業態度・身だしなみ・課題の取り組みにより評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 状況確認 第一印象のブラッシュアップ				
2回	他己紹介	他己紹介を通して、客観的に考え表現できるようになる				
3回	面接対策	グループ面接、質疑応答 立ち居振る舞い、言葉遣いなどの確認				
4回	面接対策	個別面接 就職活動状況に合わせた指導				
5回	面接対策	グループディスカッション 就職活動に合わせた指導				
6回	面接対策	グループディスカッション 就職活動に合わせた指導				
7回	自己分析・質問内容	自己分析の掘り下げ 質問内容まとめ 就職活動状況に合わせた指導				
8回	自己表現コンテスト	コンテスト 就職活動に合わせた指導				
9回	他己指導	指導することで自分の能力を高める				
10回	面接対策	企業に合わせた面接対策 就職活動に合わせた指導				
11回	面接対策	個別面接 就職活動に合わせた指導				
12回	面接対策	総合まとめ対策 就職活動に合わせた指導				
13回	将来像	過去現在未来を見つめ直す				
14回	コンテスト	コンテスト 総評				
15回	まとめ	模擬面接の見直し				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル・エアライン科
科目名	TOEIC(選択)			クラス	EQ
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。			授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				
使用テキスト	TOEIC® L&R テスト書き込みドリル【スコア650全パート標準編】				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Part1&Part5		1年の復習 Part1 Part5		
2回	Part2&Part5&7		能動態、受動態 Part2 Part5,7		
3回	Part3&Part6		分詞 Part3 Part6		
4回	Part4&Part5		時制 Part4 Part5		
5回	Part3&Part7		前置詞、接続詞 Part3 Part7		
6回	Part5&6		代名詞、関係代名詞 Part5 Part6 (長文穴埋め問題の基本戦略)		
7回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5		
8回	Part1,2&Part6		リスニング Part6		
9回	Part3,4&Part5		リスニング Part3,4&Part5		
10回	Part7		広告、チャット問題の攻略 Part7		
11回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答		
12回	模擬テスト (リーディング)		模擬テストリーディング 解答		
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説		
14回	期末テスト		総復習 期末テスト(授業中に期末テストを行います)		
15回	文法総復習		期末テスト返却 前期の総復習		

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	企業実習1～5			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	学外での実習を通して、実務の習得や社会人として必要な能力や責任を理解する			授業形態	実習	
到達目標	実務に必要な能力を身につけ、社会人としての心構えと自覚を持つ					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	成績評価はしないが、インターンシップ先の企業からの評価結果を学生に伝え、必要と判断した場合は、面談等の指導を実施する。				単位数	各1
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
各1～5日間 (5回)	インターンシップに参加する上での基礎知識や心構えを習得する。 就業体験をとおして、実際の現場で航空業界の業務、一日の流れを知り、社会人としての責任感を理解する。					